

(共同リリース)

2022年3月23日
日本航空株式会社
株式会社 ジャルパック

JALとジャルパックが東京都「心のバリアフリー」好事例企業に選出

日本航空株式会社(以下JAL)と株式会社ジャルパック(以下ジャルパック)は、令和3年度東京都「心のバリアフリー」好事例企業にそれぞれ選ばれました。JALグループでは「誰もがいきいきと輝ける社会の実現」を目指しており、さまざまな場面でのダイバーシティ&インクルージョン(D&I)推進とアクセシビリティ向上に向けた取り組みが評価されました。JALは、第15回「国土交通省国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰(*1)」に続き、アクセシビリティ分野での2つ目の表彰となりました。

(*1)2022年3月17日付共同リリース「JAL・ANA 2社共同で、第15回「国土交通省バリアフリー化推進功労者大臣表彰」を受賞」
<https://press.jal.co.jp/ja/release/202203/006587.html>



「心のバリアフリー」好事例企業は、東京都が選出するもので、心のバリアフリーに対する社会的気運の醸成に向け、意識啓発などに先進性、独自性、波及効果などの観点から特に優れた取り組みを実施している企業のなかから選ばれます。

■ JALおよびジャルパックの取り組み事例

取り組みのポイントと具体的な内容(一例)	
JAL	<p>(1)経営を含む全社員教育や外部と連携した心のバリアフリーの実践 全社員向けのアクセシビリティ教育の実施および他航空会社や空港ビル、障がい関連団体など、会社の垣根を越え外部と連携しイベントを実施することで社内外における心のバリアフリーを実践</p> <p>(2)障がいのある社員の活躍推進と相互理解による全社員のD&I推進 特例子会社JALサンライト社員による、JAL社員向けのカフェ・マッサージルーム・ネイルルーム・シューシャインサービスの提供など障がいのある社員の活躍領域の拡大</p> <p>(3)全てのお客さまが安心して利用いただける利用環境の整備 ・主要空港(*)のお手伝いを希望されるお客さま専用カウンターの刷新や聴覚障がいのあるお客さま向けの「コミュニケーションカード」の導入(*)羽田空港・成田空港・札幌(新千歳)空港・大阪(伊丹)空港・福岡空港・沖縄(那覇)空港 ・グループ会社のジャルパックと連携し、アクセシブルツーリズムを推進</p>
ジャルパック	<p>(1)「心のバリアフリー」の理解を深めるため充実した社内教育を実施 車椅子試乗体験や高齢者疑似体験を取り入れた教育を実施。サービス介助士やユニバーサルマナー検定取得も推進</p> <p>(2)さまざまな専用ツアー(アレルギーのお子さまや車椅子利用者対象)の提供 「ユニバーサルルーム特集」「10品目の低アレルギー対応食沖縄ツアー」の他、JALと連携した車椅子利用者対象とした専用ツアーの取り組み</p> <p>(3)サステナブルな新しい旅の提案への取組 「旅への障壁」を排除し、誰もが安心して楽しんでいただけるような旅の選択肢の拡充。旅行中のプランの提供や専用HPの改善など情報発信にも力を注ぎ、東京都のポータルサイト「だれでも東京」との連携も実施 (例)・「車椅子でも体験可能な人力車観光」の追加プランの提供 ・ハワイで電動車椅子レンタルを導入し、旅マエの現地情報として専用サイト(*2)でご案内</p>

(*2)<https://hokuleahawaii.com/information/44243.html>



社員向けネイルルームの様子



車いす疑似体験教育様子



アクセシブルツーリズムの推進

JALグループは今後も、多様な社員の活躍を推進するとともに、社内教育を通じた全社員の心のバリアフリーの実践により、お客さま一人ひとりに寄り添った商品・サービスをご提供することで、すべてのお客さまに安心して旅を楽しんでいただける環境の整備に取り組んでまいります。

■東京都福祉保健局ホームページ

https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kiban/machizukuri/kokoro_support.html



以上